

なつかみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

君が代は 千代に八千代に

さざれ石の いわおとなりて

こけのおすまで

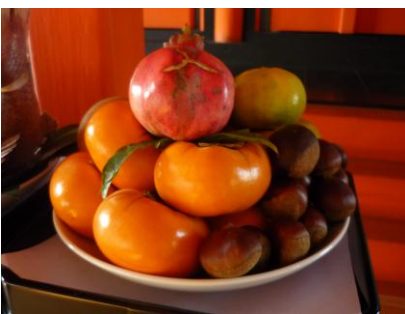
第10号
平成23年
11月15日発行
奈加美神社
泉佐野市中庄 834
電話 462-7080

神々の食事 〱 神饌 〱

神様の食事・お供え物のことを、正式には神饌（しんせん）または神饌（みけ）ともいいます。神饌には生のまま供える生饌（せいせん）と火を加えて調理する熟饌（じゆくせん）との区別があり、かつてはどちらも用いられておりました。明治時代に入り生饌を主に供えることとなりましたが、現在でも伊勢神宮などの特定の神社や、特殊な神事には熟饌がお供えされています。神饌には数々の品目と順序があり、数量は「台」で数えます。日本人の主食「米」が一番上位で、次に酒・餅・海魚・川魚・野鳥・水鳥・海藻・野菜・果物・菓子・塩・水の順になります。



お祭りの大・小によってお供えする神饌の台数は異なりますが、十月九日の秋祭りには九台の神饌をお供えしま



がりになる、大変重要な宮中祭祀で、全国の神社でも執り行われています。神様にお供えした神饌をお下げして、その「おさがり」を食することを、直会（なおらい）といい、神事にはつきものです。神様と同じものを食すことを「神人共食（しんじんきょうしよく）」といい、

した。秋祭りは収穫感謝のお祭りですので、今年の新米を始め、なるべく地場産で旬のものを調達し、色合いなども考慮して調理します。例えば右上の写真の果物は、秋の味覚の代表、梨・柿・栗・さくら・みかんを盛り合わせています。十一月二十三日の新嘗祭（にいなめさい）も新穀感謝のお祭りです。新米とともに、新米で醸した新酒（清酒と白酒）もお供えします。この新嘗祭は宮中・神嘉殿（しんかでん）において、天皇陛下

神様の「おかげ」や「おちから」を戴くという意味があります。神様へのお供えは秋祭りなどの祭典だけでなく、毎朝、米・酒・塩・水を中心に、ご近所の方々から新鮮なお野菜のお供えがあれば、ご神前に奉獻させて頂いておられます。また毎月一日の月次祭（つきなみさい）にはお供えした御塩を小袋に入れて拝殿前で無料配布しております。ありがたい御塩の「おさがり」ですので、お料理などにお使い下さい。

中庄 地車ふれあい祭り



去る七月十日に奈加美神社境内において、中庄地車ふれあい祭りが行われました。

近年、中庄地区では新興住宅が増加傾向にあり、新たに町内会に加入された町民や子供さんたちに、地車にふれあうことで親しみをもってもらい、地車祭りに参加しやすように、という目的で、若頭会や青年団が中心となり企画運営

されました。境内に地車を入れ、大工方、鳴り物の体験コーナーや、輪投げ、スーパースポーツ、コインおとしゲームなどの手作りの模擬店や、地車グッズのフリーマーケットも開催されました。夏の暑い最中にもかかわらず、多くの親子連れで賑わい、子供たちは夢中になって楽しんでいました。



奈加美神社は中庄・上瓦屋・湊の氏神さまであり、広く氏子の皆様に親しんで頂けるような、開かれた神社でありたいと考えております。今回のような取り組みや、各地域の振興目的の行事の企画などがあれば、神社境内を有効にお使い下さい。

中庄地車の紹介

中庄若頭会

中庄の初代の地車は天明五年（一七八五）に岸和田市北町の油谷治兵衛が、泉大津より購入した岸和田初の本格的な地車（それまでは長持ちに駒をつけて太鼓などを積んだ簡単なものだった）を、その三〜四年後に購入したといわれている。

二代目の地車は、明治十四年頃に泉佐野市大西町が新調した地車を昭和十二年に購入し、昭和三十六年に岸和田市戎町に売却している。

現在の三代目の地車は、昭和十一年に岸和田市福田町が新調したもので、大工は植山宗一郎氏、彫刻は吉岡義峰氏が手掛け、土呂幕は秀吉本陣佐久間の乱入、見送りは大阪夏の陣が配されている。その地車を泉佐野市大西町が購入し、次いで昭和三十七年に中庄が購入している。新調当時の大屋根は切妻型であったが、昭和六十一年、池内工務店の大改修で入母屋型に付け替え、平成十六年、北本工務店にて大改修、平成二十二年、吉為工務店にて改修を行い、現在に至る。

今後の予定

一月一日 新春特別奉納行事

毎年恒例となりましたが、迎え来る新年一日に、地元中庄出身の川崎敦久氏による尺八、併せて琴と

来年より新しい年中行事が加わります



和太鼓の奉納演奏会を開催する予定です。

四月二十九日 なかみの郷の春祭り

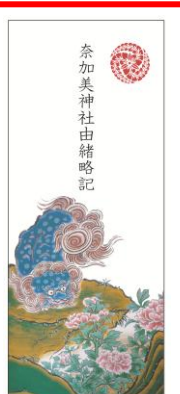
「秋祭り以外にも神社に賑わいを」ということで、春祭り・昭和祭に併せ「なかみの郷の春祭り」と題して、音楽奉納ライブ、模擬店の出店など、春の神賑わい行事を開催する予定です。

六月二十日 夏越大祓・茅の輪神事

半年毎に行われる「祓い」の神事で、知らず知らずのうちに身にふりかかる罪やけがれを祓い清める、日本の伝統神事です。十二月三十一日にも行いますが、六月は特に茅（水辺の葦や薄などの植物）で作った大きな輪をくぐる茅の輪神事を行います。

公式ホームページ開設

<http://www.nakami.org>
もしくは
「奈加美神社公式サイト」で
検索して下さい



新しい由緒書を社報とともに配布致しますのでご覧ください。

念願のホームページがようやく出来上がりました。

まだ完成ではございませんが、内容については追々充実していきたくと思っています。この度のホームページ作成に際し、写真をご提供下さいました皆様と、全面的にご協力下さいました、坐摩神社・田中権禰宜に心から感謝御礼申し上げます。